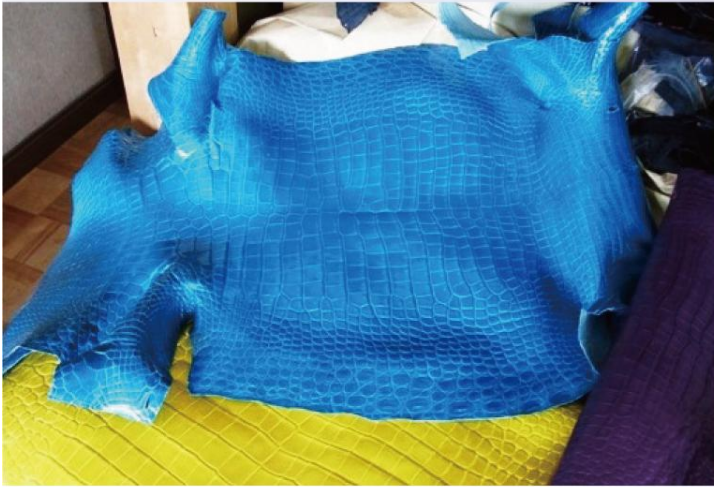




加工前のワニ革
2010年10月 遠藤 貴美子 撮影

地理空間学会ニューズレター

TOPICS

- ・「地理空間」第4巻2号刊行のお知らせ
- ・第11回～第13回例会の報告
- ・第5回大会のご案内（第1報）
- ・学会賞受賞者コメント（張 長平，山本健太，久保倫子）
- ・リレーコラム「わがまち速報」（新名阿津子）
- ・寄贈図書紹介
- ・学会からのお知らせ
- ・コラム「わたしのフィールドから」（遠藤貴美子）

JAGS

「地理空間」第4巻2号刊行のお知らせ

2012年1月20日に、「地理空間」第4巻2号が刊行されました。掲載内容は以下の通りです。

【論説】

久保倫子・由井義通・久木元美琴・若林芳樹：「沖縄県におけるひとり親世帯の就業・保育・住宅問題」

【研究ノート】

吉田国光：「中山間地域における農地利用の維持基盤－熊本県天草市宮地岳町を事例に－」

【調査報告】

田林 明・横山貴史・大石貴之・栗林 賢：「山形県朝日町におけるエコミュージアム活動による地域振興」

【フォーラム】

駒木伸比古・吉田国光・山本健太：「学術大会運営におけるクラウドサービスの有用性と課題－第5回日韓中地理学会議での経験から－」

【書評】

橋本直子：田中達也著 2011.『中近世移行期における東国村落の開発と社会』，古今書院，328p.

品田光春：原田洋一郎著 2011.『近世日本における鉱物資源開発の展開－その地域的背景－』，古今書院，300p.

山下亜紀郎：橋本雄一編 2011.『GISと地理空間情報－ArcGIS10とダウンロードデータの活用』，古今書院，154p.

市川康夫：藤田佳久編 2011.『山村政策の展開と山村の変容』，原書房，385p.

【例会要旨】

【学会記事】

※会員の方で、本誌がまだお手元に届いていない場合は、学会事務局までご連絡ください。

第 11 回例会の報告

2011 年 10 月 1 日（土）に、JICA 研究所 国際会議場において、第 11 回例会が開催されました。

テーマ：「アジアの大都市の 100 年－都市発展と環境変化」

共催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

研究発表：発表者およびタイトル

山下重紀郎（筑波大）：「アジアの大都市における土地利用変化とその地域的要因」

一ノ瀬俊明（国立環境研究所）：「アジアの大都市における複数地点の土地利用データによる都市気候変遷の解明」

白木洋平（立正大）：「アジアの大都市における土地利用と地表面温度の関係」

遠藤崇浩（筑波大）：「アジア大都市における地下環境と共

有資源問題」

豊田知世（JICA 研究所）：「アジア大都市における地下環境変化のステージモデル」

谷口智雅（三重大）：「アジア大都市における都市発展および地下水利用の変化と水辺景観」

吉越昭久（立命館大）：「アジアの大都市の都市発展モデルと水環境変化」

JICA からのプレゼンテーション

鈴木和哉（JICA 地球環境部）：「アジアの大都市における環境国際協力について」

41 名の参加があり、活発な議論がなされました。第 11 回例会の要旨は、「地理空間」第 4 巻 2 号に掲載致しました。

第 12 回例会の報告

2011 年 12 月 15 日（木）に、筑波大学 筑波キャンパスにおいて第 12 回例会が開催されました。

山下宗利（佐賀大）：「ジェントリフィケーションにみる都市空間

の変容－トロントと東京－」

63 名の参加があり、活発な議論がなされました。第 12 回例会の要旨は、「地理空間」第 5 巻 1 号に掲載致します。

第 13 回例会の報告

2011 年 1 月 27 日（金）に、筑波大学 筑波キャンパスにおいて第 13 回例会が開催されました。

仁平尊明（北海道大）：「ブラジルの熱帯湿原におけるフィ

ールドワーク」

53 名の参加があり、活発な議論がなされました。第 13 回例会の要旨は、「地理空間」第 5 巻 1 号に掲載致します。

第 5 回大会のご案内（第 1 報）

地理空間学会では、第 5 回大会を下記の通り開催致します。

開催日：2012 年 6 月 30 日（土）～7 月 1 日（日）

日程・会場：6 月 30 日 評議員会 研究発表 総会 懇親会

筑波大学東京キャンパス文京校舎（旧称：大塚地区）予定

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

※ ただし、会場は筑波キャンパスに変更される可能性もあります。

7 月 1 日 巡検（詳細未定）

大会参加費（予定）：一般会員・非会員：1,000 円

大学院生・学生会員：無料

学会賞受賞者コメント

地理空間学会 2011 年度（第 2 回）学会賞の学術賞を受賞された張長平先生、奨励賞を受賞された山本健太先生、久

保倫子先生から受賞のコメントをいただきました。

学術賞 張 長平会員（東洋大）



この度は、拙著『都市の空間データ分析』が地理空間学会賞を頂き、大いに驚くとともに、大変光栄なことと存じます。

21 世紀は都市の世紀と言われ、国連『世界人口白書』によると、2030 年には世界人口の 60%である約 50 億人が都市で生活すると予測されていま

す。近年、各国では都市空間データが整備され、地理情報システム（GIS）が補助工具になって都市空間分析が進んでおり、多く

の研究成果が蓄積されてきています。しかし、都市地理学の研究分野は非常に広く、都市空間分析もさまざまであり、拙著はここまでやってきたことをとりあえず都市内部の空間構造、都市システム、地域間の人口移動という三つのテーマにまとめたものの、他の幅広いテーマが依然として残されています。拙著の発行はまるで「抛磚引玉」（れんがを投げて玉を引き寄せる）であり、もっと多くの研究成果、とくに若い研究者の研究成果を引き寄せたいのです。

末筆ながら、日本にいる長い間、学習と研究においてご指導を賜っている先生方、生活と仕事において物心両面で支えて下さっている皆様に、この紙面を借りて御礼を申し上げます。今回の受賞を励みとして、一層努力を続けていきたいと存じます。

奨励賞 山本 健太会員（九州国際大）

この度は、拙稿「ソウルにおけるアニメーション産業の集積と特質—国際分業および労働市場に着目して—」（季刊地理学 60 巻 185-206 頁）および「上海地域におけるアニメーション産業の集積構造—海外依存型企業の事例を中心に—」（地理科学 64 巻 228-249 頁）を地理空間学会賞・奨励賞に選定していただき、大変光栄に存じます。

アニメーション産業の産業構造に関するこれら拙稿は、「東京におけるアニメーション産業の集積メカニズム—企業間取引と労働市場に着目して—」（地理学評論 80 巻 442-458 頁）とともに、2009 年度東北大学に提出した博士論文の一部を成すものです。アニメーション産業を含むコンテンツ産業は、アメリカの映像産業に代表されるように、地場の労働者やスタジオ間のネットワー

クとともに、国境を越えて、大都市間がダイレクトに結びつくようなネットワークが形成、発達することに特徴があります。東京、ソウル、上海を対象地域とした一連の研究は、このローカルとグローバル双方に展開するネットワークの姿を描くことが、目的のひとつとなっています。

国も文化も言葉も異なる地域での調査は戸惑うことも多く、私一人の力では到底達成可能なものではありませんでした。それが今回このような形で評価を得られたのは、ひとえにご指導賜っている先生方、諸先輩、ご助言くださる仲間があってこそのもです。皆さまには、この場を借りて深謝申し上げます。今回の賞を励みに、今後も一層精進して参りたいと思います。

奨励賞 久保 倫子会員（日本学術振興会特別研究員 PD・明治大）

この度は、地理空間学会奨励賞をいただき、誠にありがとうございました。これまでご指導いただきました田林 明先生をはじめとする筑波大学生命環境科学研究科の先生方には、心より感謝いたします。また、院生諸氏にも学問上の刺激をいただきました。誠にありがとうございました。

大学院に入学した 2004 年頃は、マンション供給の増加にともなって都市中心部の景観が大きく変わった時期でした。出身地である水戸市で修士論文の調査を実施しましたが、マンション購入者の居住地選択に関する意思決定過程をお聞きすることは、学問的に刺激を受けただけではなく自分の人生にも大きな転機となったように思います。

住宅購入に関する意思決定過程をお聞きすることは、その方の人生や価値観に触れることと同義です。多様な生き方に触れ、私自身の人生観も大きく変わりました。お陰様で普通の大学院生とは随分違ってしまったようで、今では異端になりつつあります。研究者にもセルフブランディングが必要な時代ですので、異端も個性と

して誇っていきたいですね。

博士後期課程に進学後は、不遇の時代で思い出だけでも涙が出るので割愛させていただきますが、2009 年からは日本学術振興会の特別研究員（DC2）に採用していただき、寝食を忘れて研究に打ち込むことができました。母校の先生方に加えて、他大学の先生方からもご助言をいただくことができ、地理学評論や、人文地理、地理空間などの主要な雑誌に論文を掲載することができました。さらに、昨年は念願だったブリティッシュ・コロンビア大学への滞在も叶いました。

不遇の時代から立ち上がってこれたのは、田林先生が粘り強く温かいご指導を続けてくださったからです。また、広島大学の由井義通先生、明治大学の川口太郎先生、京都教育大学の香川貴志先生をはじめとする多くの先生方にも支えていただきました。今後は、御恩に応えられるよう益々研究に励んでいきたいと思えます。

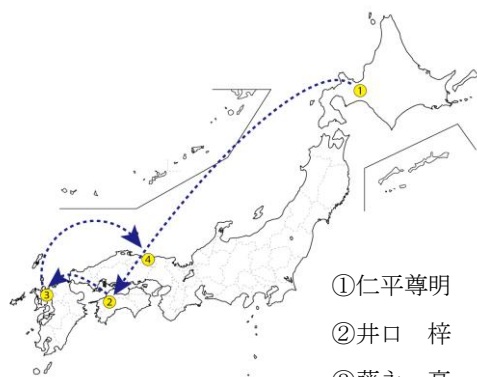
リレーコラム「わがまち速報」

#4 新名 阿津子（財団法人とっとり地域連携・総合研究センター）



写真 1 久松山と鳥取城跡

鳥取市は鳥取県東部に位置する人口約 19 万 7 千（2011 年 10 月末日時点）の都市です。国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町、青谷町と 2004 年に合併し、現在の市域となりました。一時は人口 20 万を超える山陰地方最大の都市でしたが、現在では松江市（人口約 20 万）に次ぐ都市と



- ① 仁平 尊明（北海道札幌市）
- ② 井口 梓（愛媛県松山市）
- ③ 藤永 豪（佐賀県佐賀市）
- ④ 新名阿津子（鳥取県鳥取市）

なりました。鳥取は鳥取城の城下町として都市の骨格を築き（写真 1）、鳥取地震（1943 年）や鳥取大火（1952 年）を経て、今日に至っています。

鳥取城跡には仁風閣という鳥取の近代化を象徴するフレンチルネサンス様式の建物があります（写真 2）。当時、山陰地方は



裏日本としてその後進性が指摘されていましたが、1907年の皇太子による山陰行啓を機に、市内に電気を導入し、山陰線の仮駅を建てるなどの開発が強力に押し進められ、ようやく文明開化が

写真2 仁風閣

訪れました。

仁風閣はその際の皇太子の宿泊施設として、1906年9月に起工し、翌年5月に竣工しました。設計は赤坂離宮などを手掛けた建築家の片山東熊によるものです。敷地面積7200㎡、延べ床面積1046㎡を有し、その建設費は約4万4千円（当時の鳥取市の年間予算は約5万円）と莫大なものでした。支柱のない高さ4mのケヤキの螺旋階段は当時の職人技の結晶です。現在は国の重要文化財として指定され、館内は見学可能（一般150円）です。映画「舞姫」（1989年）や「るろうに剣心」（2012年8月公開予定）にも登場しています。春から秋にかけては観光ガイドもありますので、ぜひお立ち寄りください。

寄贈図書情報

横山昭市会員より論文を寄贈いただきました。
横山昭市 2011. 「東シナ海における海洋境界と以西底曳網漁

業の変容」. 人文学論叢（愛媛大学人文学会）13：87-99.

学会からのお知らせ

＜会計委員会からのお知らせ＞

1. 会費納入のお願い

多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、若干名、過年度の会費納入がお済みでない方もいらっしゃいます。未納の方は、「地理空間」第4巻2号に同封した振込用紙でお支払下さい。納付したか不明な方や振込用紙を希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。大学を通じて電子振込みをされる場合には、必ず氏名とご所属先の明記をお願い致します。

〔年会費の振込先〕

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00120-5 口座番号：779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900
店番：019 店名：〇一九店（セロイチキュウテン）
預金種目：当座 口座番号：0779957
受取人名：チリクワンガツカイ

(ウ) 年会費

一般会員 4,000 円

大学院生会費 2,000 円，学生会費 1,000 円

2. 会費の変更について

2011年度より会費が以下のように変更になりました。

改正前	一般会員	4,000 円
	大学院生会員	3,000 円
	学生会員	2,000 円
改正後	一般会員	4,000 円
	大学院生会員	<u>2,000 円</u>
	学生会員	<u>1,000 円</u>

3. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について、会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

〔地理空間学会学術基金の内容〕

名称：地理空間学会学術基金

目的：地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

募集対象：本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

ご依頼額：1口2万円（何口でも可能です）

〔振込方法〕

（ア）ゆうちょ銀行への振込：ゆうちょ銀行の振込用紙を使用

口座記号：00150-3 口座番号：707452

（イ）他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店（セ）ロイチキュウテン）

預金種目：当座 口座番号：0707452

受取人名：チリクウカンカ"ツカイカ"クシ"ユツキキン

※ 基金への寄付をしていただいた方のお名前は、機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は、「匿名希望」とご記入下さい。不明な点は、事務局までお問い合わせください。

＜編集委員会からのお知らせ＞

1. 次号以降の投稿について

第5巻1号は、2012年6月20日の発行を予定しております。原稿は随時受け付けており、査読を経て受理された論文から順次掲載して参ります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。投稿規定や執筆要領については、地理空間学会ホームページをご覧ください。

2. 定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため、会員の皆さまの研究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購入いただける場合には、学会事務局までお知らせ下さい。

3. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡下さい。

コラム「わたしのフィールドから」

遠藤 貴美子（筑波大・院生）

表紙の写真は、ハンドバッグ等の製品に加工される前のワニ革を撮影したものです。このワニ革は、この後、裁断、皮漉き（薄く平らにする加工）、縫製などの加工工程を経て、製品となります。写真1は、裁断機（クリッカー）と抜き型を用いて皮革を裁断している場面です。

わたしのフィールドである東京城東地域（台東区、墨田区、江東区、江戸川区、葛飾区、足立区）には、皮革製のカバン・ハンドバッグ（財布も含む）の生産に携わる企業が集積しています（図）。東京城東地域のカバン・ハンドバッグ産業集積は、企画を行う問屋、問屋等から生産委託を受けるメーカー（製造卸）、各種加工業者、さらには皮革や金属パーツ等を扱う各種材料商といった多様な業種によって構成されています。1980年代後半に小物生産に参入した東京（渋谷区や港区等）のア

パレルメーカーも、城東地域におけるこうした既存の集積を活用して自社ブランドの実際の製造を行っています。



写真1 ハンドバッグメーカーの製造部門による皮革の裁断（東京都江東区，2010年9月撮影）

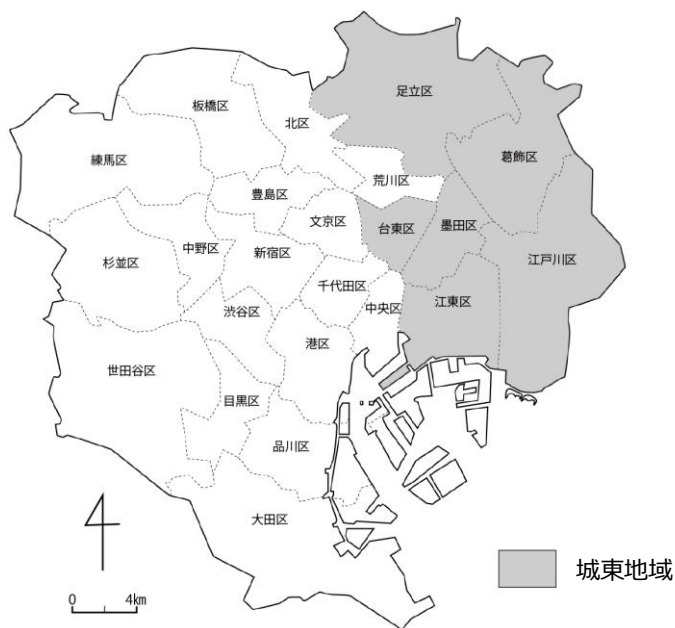


図 東京 23 区

加工業者としては、裁断、皮漉き、縫製やサンプル製作を行う業者などがそれぞれ存在します。メーカーはこれらの加工業者と結びついて、生産のオーガナイザーとしての役割を果たします。また、メーカーは問屋やアパレルメーカーなどから生産委託を受けるだけでなく、自社ブランドを生産する場合があります。

東京城東地域における皮革製カバン・ハンドバッグ産業が、海外への生産拠点の移転を経験しつつも、こうした産地内における製造も維持していることに、わたしはとても注目しています。

ニュースレター編集係より

ニュースレター12号をお届けいたします。本年は諏訪湖が全面結氷するなど、厳しい冬を迎えておりますが、暦の上では春を迎えました。ここで、如月の月にちなんで、中国の詩と日本の和歌をご紹介します。

宝剑鋒从磨砺出、梅花香自苦寒来

(宝剑の刃は磨けば磨くほど鋭くなり、梅の花は寒いときこそ美しく香る)

雪ふれば木ごとに花ぞ咲きにける いづれを梅とわきて折らまし 紀 友則

待つ春を雪散る風に吹きまぜて にほひほのめく梅の初花 本居宣長

冬の寒さ、そして雪の白さは、その後おとずれる梅の季節を連想させます。間もなく、梅の花が香る季節です。

ニュースレターでは学会関連情報を掲載して参りますので、掲載すべき情報や要望がございましたら、学会事務局までお寄せ下さい。最新の情報は学会ホームページ (<http://www.soc.nii.ac.jp/jags/index.html>) で随時更新しております。また、会員間の情報交換の手段としてメーリングリストを開設しておりますので、まだ登録されていない方はぜひご参加下さい。

JAGS Japan Association on Geographical Space

地理空間学会ニュースレター 第12号

発行日：2012年2月8日

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

発行所：地理空間学会事務局

筑波大学大学院地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/FAX 029-853-6873

E-Mail geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp